

「誰もが輝ける、人々が出会う交差点」－要介護高齢者の社会参加活動と多様性を認め合える場づくりの挑戦－

「誰もが集える居場所」を目指して、多世代交流食堂や要介護高齢者の社会参加活動を企業や地域と連携して実践している。これらが、多様な人がそれぞれの目的をもって集い、つながる場となっていることを紹介する。

誰もが輝ける、 人々が出会う交差点

－要介護高齢者の社会参加活動と
多様性を認め合える場づくりの挑戦－



（福）京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設 西院

「誰もが輝ける居場所」を目指して、多世代交流食堂や要介護高齢者の社会参加活動を企業や地域と連携して実践しています。これらが、多様な人がそれぞれの目的をもって集い、つながる場となっていることをご紹介します。

1. つながる居場所として してきたこと

支援が必要であっても、誰でもがいつまでも自分らしくいられるために。安心してその地域で暮らし続けるために。それを実現するには、地域住民がつながり、顔の見える関係を作ることが必要です。そして、それぞれの世代が役割をもち、互いのことを知ることができる機会をつくること。私たちの施設を交差点に、多様なひとと、様々なセクターを超えてつながりを紡いでいく。そんな「居場所」を目指しています。

そうしてできたのが、誰でも集える

- 「多世代交流食堂」
- 「コミュニティカフェ」
- 「子育てサロン」
- 様々な目的を持った「ボランティアの受入」
- そして「はたらく～sitteプロジェクト～」

の取り組みです。それぞれに目的をもった取り組みであり、意味を持たせています。地域に新たな活動を助長するきっかけにもなり、同学区に住民主体で子ども食堂を立ち上げるなど、地域に同じような居場所ができ、地域住民と「地域づくり」を協働していると感じています。



コミュニティカフェ

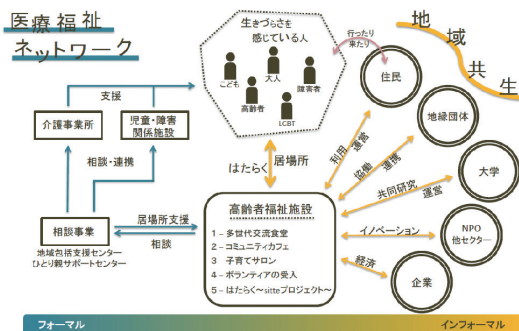


子育てサロン



ボランティア交流会

3. つながる・ひろがる ネットワーク



多世代交流食堂

毎月第3金曜日に開催。17時～19時半。
子どもから高齢者まで平均126人が利用。
子どももボランティアとして活躍中。



2. ものをづくり、はたらいて 社会とつながる

居場所づくりのひとつである「はたらく～sitteプロジェクト～」は、要介護高齢者の「社会参加活動」としてデイサービスのご利用者を中心に実施しています。

介護を受けながらも、まだまだ出来る事はあって、人の役にたてることを知ってほしい。そんな思いから生まれたプロジェクトです。これは、有償ボランティアとして、デイサービスの利用中に活動をする取り組みです。そして、そこに、地域におられる様々な人が一緒に参加できるようにしています。

自身のできることに応じた活動をすることで、社会参加が可能となり、「はたらく」ことを通して、地域の方と出会い、経済活動に参加をして、地域や社会とつながり続けていきたいと思います。



食堂の下準備



まな板の作成



お惣菜の販売

オリジナルブランド『sitte』

デイサービスのご利用者や地域で働きたい人が参加。まな板を企業と協働し製作。おしゃれな雑貨屋で販売中。謝礼は、地域の商店街で利用できる金券。



誰もが輝き続けるための「居場所づくり」を地域の人々とともに実践していくことが、地域にある社会福祉法人の役割であり、存在意義だと考えています。ひとと人が繋がるこれらの活動を実施することで、施設を地域に開くこととなり、地域でのネットワークができてきました。このネットワークができたことが、多様な人々が受け入れられる地域・社会になっていくと信じています。